

## 第5回千葉県サッカー医科学研究会 報告書

H27年2月14日にみやざき倶楽部にて第5回千葉県サッカー医科学研究会を開催した。

一般演題として、「育成年代サッカー選手における下肢・体幹の柔軟性：年代観の比較」を了徳寺大学の高橋顕三先生、「非侵襲的な経皮的ヘモグロビン濃度測定器を用いた育成年代サッカー選手の貧血の検討」を柏市立病院の池川直志先生、「女子サッカーチーム【オルカ鴨川 FC】紹介および傷害調査」を亀田メディカルセンターの常森宏治先生、「千葉県におけるユース年代サッカー選手の傷害調査」を千葉県サッカー協会スポーツ医学委員会の熊谷知昭先生が発表した。

特別講演として広野町レストラン アルパインローズの料理長の西芳照先生に「サッカー日本代表ブラジル W 杯 2014 サポート～【食】厨房からみたもう一つのサッカーワールドカップ」と題し、海外のホテルの厨房に入り、栄養、嗜好、衛生面を考えて食という面からどのように代表チームをサポートしてきたかについて御講演頂いた。次いで順天堂大学大学院医学研究科整形外科学准教授の池田浩先生には「サッカー日本代表チームにおけるメディカルサポート」という演題で、JEF のチームドクター時代のお話から日本代表チームのメディカルサポートについて具体的な御講演を頂いた。

研究会の後に情報交換会を設けたが、その席まで特別講演を担当して頂いた池田先生に参加者から多くの質問が寄せられ（西先生は時間のため情報交換会には不参加でした）、お食事を取る間もないほど多くの質問にお答えいただきました。

会を重ねるごとに参加者は増え、今回は過去最多の 105 名の参加者があり、皆様からご好評をいただき、今後もこの研究会を発展させていきたいと考えております。

文責 スポーツ医学委員会委員長 森川 嗣夫

